

配付（敬称略）：勝本創生推進委員会委員長、安枝委員会アドバイザー

まちづくり推進課（炭崎、中澤、三宅、景山）、まちづくりアドバイザー（深川、田尾、山本）

環境部会委員（岩倉、久世、高木、高橋、外村、平井、福富、藤原、森田、山内）

（写し）香水安心・安全子ども育成部会長、村下生活機能向上部会長

環境部会 藤原篤

第40回 環境部会 議事録

日時：6月26日（日）10時～11時30分

場所：竹の里センター しゃくやく

出席：岩倉、久世、平井、福富、藤原、森田、長澤、山本（アドバイザー） 計8名

はじめに：

今年度の環境部会は、「広く住民や各部会にも開かれた部会とする」ことを基本方針とする。

報告：

1. 第14回部会連絡協議会報告

1) まちあるきについて

- ・ 春のまちあるきの記事と参加者の心のこもった和歌が、ホームページに掲載された。
- ・ プロジェクト会議では、距離、水の補給、人数などについて反省があった。
- ・ 第2回まちあるきは、小畑川をテーマとし、8月末におこなわれる予定。

2) 「吹田市道路愛称づくり市民会議」により、1998年から2001年まで3年かけてつくられた、千里ニュータウンの「道路愛称」が紹介された。

3) 大人のひろば「なんじゃもんじゃの夕べ」は、市長も参加し盛り上がった。

4) まちの縁側としてのサブセンター会館利用、プレイパーク等、各部会の活動報告について。

5) 部会連絡協議会では、久世さんと岩倉さんが福島さんとともに事務局を担当する。

議題：

1. 23年度環境部会事業計画

本年度の重点項目、ゴミゼロ推進、地区計画等の理解と周知、緑のガイドラインづくり、および勉強会（タウンミーティング）の進め方について。

- 1) ゴミゼロ推進は、22年度に中身は整っているため、本年度は、具体的戦略として、住民間の温度差を縮めるため勉強会をおこなう。その後委員会から市へ要望するものとする。
- 2) 緑のガイドラインは、住民の意識改革も勉強会をとおして平行して行う。北部みどり管理事務所では、「ぜひ（緑のガイドラインを）提言してほしい」との情報あり。なるべく前倒しで進めていく。
- 3) 各建物や敷地の使い方は、土地所有者の裁量によるものであるとともに、町並み景観は、住民の

共有財産であるという両面を持つ。この点をふまえながら、たとえば、これまで地区計画や協定がほとんど結ばれていなかったテラスハウスの今後想定される建て替え時のさまざまな問題や沿道部の景観などについて、具体例を交えながら、専門家の話を聞けるような勉強会を開催する。

- 4) 勉強会は、住民や他の部会員にも開かれたものとし、定例の環境部会を（出前）勉強会として開催する。なおこの方針については、次回の部会連絡協議会において、藤原部会長が承認を得ることとし、各部会にも参加を呼びかける。

2. その他

- ・創生推進委員会は、介護施設の配置の問題など、ほかにも取り組むべき課題を抱えている。
- ・次回環境部会は、7月17日（日） 10時～11時30分 竹の里会館で行う。

以上